

西要寺だより

第101号 令和3年8月1日

●永代経法要のご報告

当初、5月22日23日で予定しておりました永代経法要ですが、1ヶ月延期し、6月22日23日の2日間、お勤めさせていただきました。兵庫県におきまして新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言は解除となりましたが、阪神間におきましてまん延防止等重点区域となっていました



ので、原則として、22日はJRの線路よりも南側にお住まいの方に、23日はJRの線路よりも北側にお住まいの方というように、地域を分けて参詣していただきました。参詣者の方々にご協力をしていただき、22日・23日ともに約20人のお参りでした。

両日共に、午後2時より『仏説阿弥陀経』のお勤めをし、その後、約40分間、中央仏教学院講師、浄土真宗本願寺派総合研究所研究員の西河雅人先生にご法話をしていただきました。

NHKの「チョコちゃんに叱られる！」という番組で紹介された『お経ってなに?』、お経をあげる意味やそもそもお経とは何なのか?を導入としてお話していただきました。その番組では、お経の内容は、主にお釈迦さまから生きている人たちに向けたのメッセージと言われます。お経は決して亡くなった方のためのもではなく、周りで聴いている生きている人たちのためのも。中身は「美しい仏の世界」「未来の予言」などが含まれている場合もありますが、その内容は主にお釈迦さまからの生き方についてのアドバイス、ということ。

そもそもお経は紀元前5世紀ごろにインドで最初に誕生したといわれていて、そのお経の元になる教えを説いたのはブッダとも呼ばれているお釈迦さま。お釈



迦さまは裕福な家庭の子どもでしたが、生まれてから一週間で母と死別した事もあり、その後どんな人にも必ず老いや病気や死が訪れるという世の中の現実を見て苦悩するようになられます。そして 29 歳の時に家を出て修行。お釈迦さまは断食などの様々な苦行や深い瞑想修行などを通して 35 歳の時に菩提樹という木の下で悟りの境地に入られました。



西要寺の庭で咲いた蓮

どんな悟りを開かれたのか？ということは悟りの表現によって色々あるものの、代表的なものが「三法印(さんぼういん)」と呼ばれる内容です。三法印とは、諸行無常(しょぎょうむじょう)、諸法無我(しょほうむが)、涅槃寂静(ねはんじやくじょう)の3つの教えのこと。

諸行無常は、この世のすべてのモノは生滅変化していくということ。

諸法無我は、この世のすべてのモノ(人間も含めて)は決して変わることがないモノをもたないということ。

涅槃寂静は、自分勝手な欲望や憎しみなどの思いを無くすことで苦しみが消えて楽になれる(安らかな状態になれる)ということ。

お釈迦さまは 80 歳で亡くなりましたが、生前残された教えを後に弟子たちが文字にしてまとめたものがお経。そのうちのお経を抛り所にするかによって色んなグループに細分化。それが現在の日本でいう所の浄土宗、日蓮宗、真言宗などの宗派となるのです。

以上長くなりましたが、番組での内容も含め、お経の成り立ちとその内容について書きました。

法事となりますと、故人の追善供養として、つまりお経をあげるという善を、故人に縁のある者が、その故人のために追っておこない、供養する、菩提を弔うと思いがちですが、浄土真宗においては、故人のことは阿弥陀さまにおまかせし、お経の本来の意味のように、私たち生きているもののメッセージとしてお経をいただいていくことが大切です。それならば、法事は勤めなくてもいいのか、と思われるかもしれませんが、法事をお勤めする意味は、故人をお偲びするということ、また、生きている私たちを救っていただくのは阿弥陀さま、いろいろとかたちや方法(手段)を変えて私たち生きているものを導いてくださるご先祖(故人)に対して御礼を申しあげる意味があるのです。

●西要寺納骨堂の新設

近年、お墓終（しま）いが増えています。西要寺の門徒さんも遠い場所にお墓があるとか、後を継ぐ人がいない等からお墓をどうするかと悩まれている方がいらっしゃいます。そこで、西要寺におきまして納骨堂を新設します。新設しますといいましたが、場所は山門の西側の部分（部屋）を利用します。縦長の部屋なので、そこを納骨堂とすることにしました。将来的にさらに納骨堂の需要が増えれば別棟を新設するかもしれませんが・・・。まだ契約書を作成している最中です。取り敢えず、みなさまにご報告いたします。今秋（10月半ば頃）完成する予定です。納骨堂を希望される方はお申し出ください。契約書が出来次第、優先的にお渡しいたします。

●YouTube（ユーチューブ）を始めました

それからYouTube（ユーチューブ）も始めました。今年の4月に次女と桜の撮影に行きました。その動画に私が言葉を入れました。そして、娘がBGM（音楽）を入れてくれて、YouTube（ユーチューブ）にあげてくれました。定期的にあげていく予定ですので、宜しくお願いいたします。



●新型コロナワクチンの接種

前住職と前坊守につきましては、2回の接種済み。住職は、西本願寺の職域接種で7月26日に2回目を接種。坊守は尼崎市内の集団接種で8月に接種予定。9月には西要寺の寺族すべての接種が済む予定です。

●今後の定例法座について

今年度の西要寺の法座（毎月22日開座）につきましては、5月に予定しておりました永代経法要を6月に延期したことで、5月以外の月ではお勤めをしております。昨年度はなかなかお勤めすることができていませんでしたが、広い本堂を有効的に使い、間隔を空けて椅子を配置し、窓を空けて換気もしております。椅子や出入り口の消毒についても、坊守が欠かさず毎回行ってくれています。

併せて、ZOOM を使ったインターネット配信も今秋以降に導入する予定です（すでに実験済みです）。少しでも興味のある方には説明し

ます。説明の入ったプリントも用意しました。宜しくお願いします。

●引っ越しをされる場合

引っ越しされる場合は、新住所を西要寺までお知らせ下さい。法要の案内状を郵送させていただきます。引っ越しの際はお仏壇のお勤めも必要となります。お勤めの詳細については、西要寺まで問い合わせ下さい。

◎今後の西要寺行事予定◎

【盂蘭盆会法要】

8月13日(金)14日(土)15日(日)いずれも午前11時より

場所：西要寺本堂

持ち物：念珠、経本(お寺にもあります)、門徒式章

※例年、過去帳をご持参いただいておりますが、今年度の永代経法要の時のように、法名などを記入いただいた法名奉呈用紙を尊前に供えてお勤めさせていただきます。会館(本堂と画像で繋がります)も使用します。なお、緊急事態宣言が発令された場合は昨年と同様、お焼香のみとさせていただきます。

【定例法座】9月22日(水)午後2時より

講師：未定

場所：西要寺本堂

【報恩講法要】

10月22日(金)23日(土)両日とも午後2時より

講師：佐々木 義英師

場所：西要寺本堂

※いずれも法要の時間は短縮させていただきます。なお、緊急事態宣言が発令された場合、定例法座は中止、法要は延期させていただきます。

なお、開催の有無等の詳しいことについては、西要寺ホームページ、西要寺の南と北にある掲示板などでお知らせします。なお、直接、西要寺まで問い合わせしていただいても構いません。宜しくお願いいたします。

ホームページ
saiyouji.com



Instagram
saiyouji.a



浄土真宗本願寺派 西要寺

〒661-0024 尼崎市三反田町1丁目7-27

電話 06-6429-8241 FAX 06-6429-8239